

全国連盟通信

第30期 No.7
2013年 9月 9日
発行責任者
和食昭夫



新日本スポーツ連盟

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2大住ビル402

TEL: 03-3986-5401 FAX: 03-3986-5403

Eメール: cbf31680@pop02.odn.ne.jp URL <http://www.njsf.net>

つなごう 支援の輪

猛暑にもめげず取り組んだ夏の活動を、秋の活動に引き継ごう

新日本スポーツ連盟会長 永井 博

前回の理事会から4ヶ月余り、いろいろなことがありました。スポーツに限ってみても、世界水泳と陸上、田中投手とイチロー選手の快挙、夏の高校生のはつらつスポーツ、この通信が届く頃は2020年の夏季オリンピックの開催都市が決まっているでしょう。

私は、そんな中からスポーツと平和に係わる一つのことを紹介し、巻頭言とします。

それは、8月6日の広島平和記念式典で、市内の小学生がこどもを代表して読み上げた「平和への誓い」です。

その最後の部分は、「平和とは、安心して生活できること、平和とは、一人一人が輝いていること、平和とは、みんなが幸せを感じること。

平和は、私たち自らがつくりだすものです。そのために、友達や家族など、身近にいる人に感謝の気持ちを伝えます。多くの人と話し合う中で、いろいろな考えがあることを学びます。スポーツや音楽など、自分の得意なことを通して世界の人々と交流します。

方法は違っていてもいいのです。大切なのは、私たち一人一人の行動なのです。さあ、一緒に平和をつくりましょう。大切なバトンをつなぐために」と、なっています。



私は、この「平和の誓い」の中に、子ども達のはちきれんばかりの平和への想いととともに、スポーツが音楽など文化分野と同じように国際交流・理解をすすめる、平和への強いメッセージ性を持っていることを感じ取りました。同時に、そうしたスポーツを実現するためにも、私たちは力を発揮してきたのだと、改めて自覚した次第です。

スポーツを通じて平和に向って歩んだ、夏の活動を秋の活動に引継ぎ、全般にわたって前進しましょう。

CONTENTS

- 2 中国、四国、九州地方で組織拡大をめざす組織拡大交流会議
- 3 2013年 反核・平和マラソン交流のつどい
- 4 コーマラソン、国際スポーツ平和フォーラム&マラソン

- 5 連盟の社会的・政治的活動に取組む基本方針
- 6-7 第6回理事会報告
- 8 主なスケジュール、義援金、研究所

広島で「中国、四国、九州地方で組織拡大をめざす組織拡大交流会議」



8月4日の日曜日の午後1時から5時まで、広島市の二葉公民館・研修室で標記交流会議が開催されました。

交流会議には、2県連盟（福岡県連盟、徳島県連盟）、1準備会（広島県連盟準備会）と8全国種目組織の代表者（野球協議会、卓球協議会、ランニングセンター、ウォーキング、バレーボール、サッカー、ソフトボール、ミックスバレーボール）からの15名とスポーツ活動・組織局から北川氏、青嶋氏の2名が参加し合計で17名が出席しました。

まず、最初に自己紹介したあと、スポーツ活動・組織局から開催趣旨、基調報告がありました。内容は、以下の通りです。

2013年度活動の重点として、『暖かさと連帯に充ちた多様なスポーツ活動を広げ、「スポーツの仲間づくり運動」をダイナミックにすすめよう』と提起されており、この間、全国の組織拡大運動で、全国各地の教訓を共有化しようとする努力を行ってきました。

その過程で2009年に岩手県連盟が結成され、昨年から広島県連盟の結成に向けて準備を行い、この7月に、正式に準備会が発足しました。関東ブロックでも茨城県に県連盟作ろうと動き始めています。種目組織では、卓球協議会やウォーキング協議会、ミックスバレーボールにおいて、空白地域で出前大会が旺盛に展開されています。

2015年11月連盟結成50周年を迎えるにあたり、広島をはじめとする中国、四国、九州での組

織拡大を図り連盟全体の発展をめざすことが焦点の課題となってきているという位置づけで今回この会議が持たれています。

その具体化として、ブロックの共同の力の発揮、都道府県連盟と全国、地方種目組織と連携、局間との連携を図り、いろいろな力を引き出し、この課題に挑戦していくが必要になっています。

中国、四国、九州地方ではスポーツ連盟の県連盟組織があるところは、17県中4県しかないのが現状です。種目組織でクラブや競技大会を開催している種目は、まだ少なく、全国種目組織がこの地方で活動を活発にしていく必要があります。

当面の重点活動としては、広島県連盟の立ち上げに全力をあげ、全国種目組織が広島での活動を積極的に意識して取り組むことや九州地域では、熊本県で県連盟づくりをめざしていくことの必要性が提起されました。

そのあと、4人の個別報告に基づき質疑応答、討議を交え深め合いました。

最後に、スポーツ活動・組織局長の北川氏からまとめがあつて終了し、そのあと懇親会へと移動しました。

まとめの要旨としては、①新しく組織を作っていくには、スポーツ連盟とは何か必ず問われ、連盟の果たす役割をしっかりと理解していくことが必要です。その際、「スポーツ、きみが主人公」という立場をそれぞれの思いで語っていくことが大事です。②その中でも、県連盟づくりと県連盟の果たす役割を意識的にとらえることが必要で、それぞれ自分の種目の活動は頑張るが、横へのつながりを作ることにはどうしても疎くなるので、全種目が一緒に活動する具体的な場面を作っていくことが大事です。③広島での県連盟づくりが成功すれば、運動全体にとっても大きなインパクトになることは必至であると結びました。

【スポーツのひろば10月号掲載】

2013年 反核・平和マラソン交流のつどい開催



「2013年の反核・平和マラソン交流のつどい」が、8月5日に広島県立総合体育館小会議室で行われ、6都府県、4全国種目組織などから18名が参加しました。

この「つどい」は、①各地の反核・平和マラソンの貴重な経験を交流し、②広島～長崎反核・平和マラソンに参加するランナー・スタッフを激励③県連盟結成を目指す地元を励ますと同時に、直後に行われる「韓国平和マラソン」成功へのタスキをつなぐ事を目的に開催されました。

開会にあたって、スポーツ連盟石川副理事長が「各地で反核平和マラソンが取り組まれ、6日には広島～長崎反核・平和マラソンが出発し、広島城でも行われます。今年も核兵器廃絶にむけた暑い夏を迎えています。被爆68年、使用を前提にした核兵器の容認する核抑止論が続いています。こうした中で私たちは、人類を破滅に導く残虐兵器である核兵器の廃絶をアピールする取り組みをしてきました。今後に向けて交流しましょう」と主催者あいさつをしました。

その後、4日の「西日本での組織拡大をめざす交流会議」にも参加した広島県連盟準備会事務局長の寄隆秀さんが「スポーツ基本法ができて、県連盟を具体化したいと6月に準備会を開いた。反核・平和マラソンは平和市長会議や日本非核宣言自治体協議会からも後援を得る取り組みなのかと、広島でも開かれていたが知らなかった。お手

伝いしますとつながり、全国の皆さんの援助をいただいで県連盟づくりにつながった」と地元を代表してあいさつをされました。

参加者は、萩原純一（東京）、藤本貢（神奈川）、園生一成（大阪）、荘司浩（京都）、林口秀司（和歌山）、寄隆秀（広島県連盟準備会）、北出祥夫（全国RC）、吉越悦子（ウォーキング協）、谷本忠（ソフトボール協）、及川久雄（サッカー協）、石川正三（スキー協）、間間至（東京板橋区連盟）、西村文男（福岡実行委員会）、辻恒雄（広島県議）、中原洋美（広島市議）、青嶋繁太郎（全国連盟）、北川登（全国連盟）、吉成克実（全国連盟）（敬称略）。

最後に石川副理事長が「反核・平和マラソンは全国20都府県以上に広がり、各地のみなさんの創意的な活動によって今日まで発展してきました。2015年には新日本スポーツ連盟創立50周年を迎え、それを記念する意味を含めて「被爆70年東京～広島～長崎反核・平和マラソン」を計画しています。この年末には具体案が発表できると思いますので、ご協力をよろしくお願ひします。最後に、明日の「ヒロシマ平和マラソン&ウォーキング大会」と、明日からの「第31回広島～長崎反核・平和マラソン」を成功させましょう」とまとめを行い、東京からアコーディオンを持って参加した萩原さんの演奏で「青い空は」を全員で歌い、記念写真を撮り、時間通り終了しました。

【スポーツのひろば 10月号掲載】



2013年 スポーツと平和の日仏交流(FSGT コーマラソン)報告記



FSGT及びコー・ショア陸上クラブの招待を受け、新日本スポーツ連盟全国連盟(NJSF)と全国ランニングセンターの推薦で富田良一氏(団長、京都ランナーズ)北出祥夫氏(キャプテン、大阪、

泉北ランニングクラブ)加藤久規男氏(選手、和歌山ランニングセンター)佐藤正美氏(選手、東京ランニングクラブ)の4名が、代表団として派遣されました。5月5日に関空を出発し、15日に帰国する11日間のフランス国際交流の旅でした。(コーマラソンは8日から11日の4日間、6ステージ)

今回の主な目的は、①コーマラソンをエンジョイし、フランスや海外代表団との交流を深める(今回の選手村外国選手は、ルーマニア・ブルガリア・ポーランド・アルジェリア・イスラエル・モロッコ・フランス・日本の8カ国)②FSGTの組織や活動、施設、環境、課題等の学習③東北復興支援のお礼④来年の第30回コーマラソン開催についての情報収集の4項目でした。

【「スポーツのひろば」7・8月号掲載】

2013 国際スポーツ平和フォーラム&反戦・反核・平和マラソン・300Km 参加報告

理事 間間 至 (スポーツ権・平和運動局員)



韓国体育市民連帯からの招待に応え、新日本スポーツ連盟が代表団を派遣、その一員でイベントに参加していますので、報告致します。参加者8名は下記の通りです。

新日本スポーツ連盟(NJSF)代表団;今野雄三団長(全国RC事務局長)、間間至副団長(全国連盟理事)、瀧端美津雄副団長(全国RC・大阪快走クラブ会長)、自主参加者;佐藤好行氏(全国連盟国際活動局員、神奈川RC運営委員)、長井健治氏(全国連盟理事・国際活動局員)、橋本静修氏(ランナー9会員・前回参加者)、宮地辰彦氏(全国RC・福岡RC)、宮地慶子氏(辰彦氏帯同) (30代1名、50代1名、60代6名)

*全体概要

韓国体育市民連帯主催「2013 国際スポーツ平和フォーラム」は8月12日に韓国・永同の老斤里(ノグンリ)平和記念公園内施設セミナー室にて、韓国約60名、フランス代表団3名、日本代表団8名の参加で開催されています。CCTVの取材も行われています。(ノグンリ事件で検索してみてください)

反戦・反核・平和マラソンは、ノグンリ平和公園・記念碑前を出発地に、8月13日~15日の3日間、ゴール地・イムジン閣までの300kmを走る平和行動です。参加ランナーは、体育市民連帯から約30人、フランス2名、日本7名。3日朝にはソウル市民ランナーが5名参加しています。走力によってグループ分け、5km30分の区間を、2~6名のピースランナーが継走していきます。伴走に自転車が2~3台、フランス代表団のアラン氏も自転車伴走でランナーを励ましています。ゴール手前1kmから全員で横断幕も掲げ、ハングル語で反戦・反核・平和を唱和しながらのラン。とても感動的で感激!

終了式で、マラソン終結平和宣言文「2013 反戦・反核・平和300km 国土縦断マラソンを終えて、‘分断を越えて平和のために私は走りたい’」が読み上げられました。

【「スポーツのひろば」10月号掲載】

スポーツ要求、スポーツ権実現のための国民的共同を發展させる

＝新日本スポーツ連盟の社会的・政治的活動に取組む基本方針＝

2013年8月24日 新日本スポーツ連盟第6回理事会

<経過>

・新日本スポーツ連盟（以下「スポーツ連盟」）は、2012年12月8～9日の第3回理事会、13年4月13～14日の第5回理事会で、スポーツ連盟の社会的・政治的役割と活動のあり方について、継続的に討論し深めてきた。今回の第6回理事会は、この間の討論の整理を行い、スポーツ団体として社会的・政治的な活動に取組む基本的な態度と方針について、以下の通り確認した。

1、スポーツ連盟は、「スポーツは万人の権利」（創立宣言）の理念のもとづき、だれもがスポーツを楽しみ、一人一人が多面的な能力を自由にのばすことをめざし活動する自主的で民主的なスポーツ団体である。この目標を実現するために、基本的人権としてのスポーツの理念と方針を社会に普及し政治に反映させるためにこれまで以上に積極的に活動する。

2、スポーツ連盟が掲げるスポーツ要求と方針は、国民のスポーツ要求に根ざしたものであり、その実現の基本的な力は、全てのスポーツ愛好者、スポーツクラブ、スポーツ団体、各種のスポーツの専門家をはじめ、国民の世論と社会的な共同の運動の發展にあると考える。それゆえスポーツ連盟は、この国民的な共同を推進することを自らの使命とし、そのために誠実に活動する。

3、2011年6月、超党派で「国民のスポーツ権」を明記したスポーツ基本法が成立した。この新たな状況は、スポーツ連盟が創立宣言（1965年）でかかげた「スポーツは万人の権利」の理念が国民的に共有されたものであり、わが国のスポーツ界において画期的な意義を持つものである。

さらに、東日本大震災と福島原発事故のかつてない深刻な被害を経験した国民・市民のなかに、自らの要求は自らの行動と政策で実現するという新しい運動が生まれ広がった。この市民の運動は個別的な要求実現運動を基礎に、各種の要求運動相互の共同へと發展する権利意識や政治的な自覚の変化を確実に生みだしつつある。スポーツ連盟はこうした新たな変化に積極的に対応し、広範なスポーツ愛好者、スポーツクラブ、スポーツ団体との共同を強め、スポーツ要求の実現とスポーツの發展を軸にして、社会と政治に対案を提起し改革していく運動に積極的に参加していくものである。

4、立法機関である国会や地方議会とそれを構成する議員（および政党）を選択する各種の選挙は、スポーツ要求実現のための社会的・政治的な運動の一つの形態であり、国民の基本的な権利である。この各種の選挙において、構成員の自由な政党支持の選択は、各自が自らのスポーツ要求実現のための共同行動に参加し、その経験を通じて、どの政策が正しいか、どの政党や政治家が正しい政策を持っていて共感できるか、などを自覚的に判断するものである。スポーツ連盟は、この構成員の行動と選択を尊重するために、憲法が保障する思想・信条、政党支持の自由を構成員に最大限保障する。同時に、特定の候補者や政党を支持・推薦することおよび会員への強制は行わない。なお、広範な市民団体、労働組合、民主団体などによる共同要求実現運動型の首長選挙の場合は、個別的に検討し対応する。

<付記>

個別の選挙においての対応は、以上の方針に基づき、理事会等で検討し具体化する。

第 30 期第 6 回理事会が終了

活動の整理と第 31 回定期全国総会に向けて

事務局長 福島邦夫

第 30 期第 6 回理事会は、8 月 24 日、25 日の 2 日間、東京の帝京平成大学内集会室及び東部区民事務所集会室で開催されました。出席は理事 30 名、会長・副会長 2 名でした。この理事会では、各地での組織拡大・連盟づくり「スポーツの仲間づくり運動」、50 周年事業の具体化、第 30 回全国スポーツ祭典第 1 回実行委員会の報告、現在までの活動の整理と第 31 回定期全国総会に向けた展開などについての討論が行われました。

【スポーツ活動・組織局】

「広島で新日本スポーツ連盟を作ろう」と 5/26 に第 1 回懇談会を実施した後、第 2 回は広島県連盟準備委員会として 7/27 に開催されました。広島で取り組まれている活動や県民の多様なスポーツ要求を実現する活動などが検討され、準備委員会の分担や事務局も決定しました。第 3 回準備委員会は 10/5 に開催します。広島の情報があればお知らせください。また、10/5 の第 3 回広島県連盟準備委員会に激励のメッセージをお願いします。〈広島県連盟準備委員会事務局連絡先〉

住所：〒732-0032 広島市東区上温品 1-1 1-9 寄 隆秀氏気付

新日本スポーツ連盟広島県連盟準備委員会

電話：082-289-5233 携帯：090-6435-6675

メール：saki.takahide(アットマーク)gmail.com

「中国、四国、九州での組織拡大をめざす交流会議」が 8/4 広島で開催されました。【2 ページ参照】『暖かさや連帯に充ちた多様なスポーツ活動を広げ、「スポーツの仲間づくり運動」をダイナミックにすすめよう』そのためには、ブロックの共同の力の発揮、都道府県連盟と全国・地方種目組織と連携、局間との連携を図り、連盟全体の発展を目指すことが焦眉の課題となっています。特に、中国、四国、九州での組織拡大を図ることが当面の重点課題です。

「茨城県連盟づくり」を関東ブロックで推進しています。6/11 に水戸のスポーツ関係者と面談し連盟結成の展望を懇談、その後スポーツ関係者との面談を繰り返し、8/31 に新日本スポーツ連盟結成に向けた予備会議を開催する予定でしたが、9/8 県知事選挙のため延期となり 9 月中の予備会議開催を目指します。

【第 30 回全国スポーツ祭典】

東海ブロック主管の第 30 回全国スポーツ祭典は、第 1 回実行委員会を 8/10 愛知県連盟事務所で開催し、東北復興支援を続けておこない被災地選手・チーム参加費の半額を援助すること、開催地の決定状況、共通予算案、実行委員会体制等が理事会に報告されました。復興支援の財源のあり方と経費削減によるポスター未使用については、再検討するよう確認しました。開催都道府県・種目代表を交えた第 2 回実行委員会を 2013 年 12 月 22 日（日）名古屋市中区の愛知民主会館で開催します。

【スポーツ権・平和運動局】

「2013 年反核・平和マラソン交流のつどい」が 8/5 広島県立総合体育館で開催されました。【3 ページ参照】8/4 の交流会議と連携した取り組みで成功しました。

局活動として「国民のスポーツ権実現のための運動」を充実していくこと。そのための実態調査や全国会議の開催などを検討します。文科省交渉は 11 月で進めていきます。また、10/13（日）原発ゼロ★統一行動への参加を呼びかけます。

【国際活動局】

国際交流は、フランスとの「2013 年スポーツと平和の日仏交流（FSGT コーマラソン）」の報告【4 ページ参照】。韓国との「2013 国際スポーツ平和フォーラム&反戦・反核・平和マラソン・300Km」の報告【4 ページ参照】。

国際活動局は、国際交流の推進と支援をし、次回理事会へ C S I T 加盟について提起をしていきます。

『スポーツのひろば』の購読者を

2013年12月号(11月1日発行)までに、あと**500部増やそう!**



【広報局】

第30期第1回評議員会において、『スポーツのひろば』価格改定は「新規購読者290円のキャンペーンを続ける中、更なる可能性を見出して、2014年より定価290円とすることを目指します。」と決議しました。2014年からの価格改定について、その方向性について、以下の内容が確認されました。

- 1、2013年12月号(11月1日発行)の購読総部数が2,500部以上となった場合。
 - ①2014年5月号(4月1日発行予定)より連盟内(会員)販売価格を290円とする。
 - ②ひろば分局(都道府県連盟)への卸価格は、2014年5月号(4月1日発行予定)より全て250円とする。
 - ③2015年1・2月号より定価表示450円(卸380円)を290円(卸250円)に改定する。
- 2、2013年12月号(11月1日発行)の購読総部数が2,500部に満たない場合。
 - ①価格改定はせず、現行定価450円のままとする。
 - ②キャンペーンは予定どおり2014年3月31日まで実施し、キャンペーン購読者は次回の更新時より450円定価とする。

(2013年10月号の購読総部数は1,948部)

【総務局】

6/24～26宮城県女川町ボランティア活動【スポーツのひろば9月号掲載】の報告があり、継続して支援していくことが大切ということを確認しました。

「スポーツセミナーin岩手」9月28日(土)の交流会について、時間を午後6時30分～8時30分に変更します。

【その他】

新日本スポーツ連盟の社会的・政治的活動に取り組む基本方針について、2012年の第3回理事会、2013年の第5回理事会で継続的に討論し、今回の理事会は、この間の討論の整理を行い、スポーツ団体として社会的・政治的な活動に取り組む基本的な態度と方針について確認しました。【5ページ参照】

第31回定期全国総会(2014年3月15～16日)に向け、第31期機構・役員検討委員会から経過報告がなされ、役員選考委員に永井博、和食昭夫、岩波道子、板垣美和子、福島邦夫の5名、議案起草委員案に永井博、和食昭夫、青沼裕之、伊賀野明、北川登、福島邦夫の6名を選出しました。なお、全国総会招請状・同付記、ならびに全国総会代議員数及び総会分担金額等については、第7回理事会(12月14～15日)で決定し、各都道府県連盟、全国種目組織に対しては、12月16日に発送します。

創立50周年記念事業の具体化について、事業別の全体会合をおこないました。今後、記念事業責任者会議を重ねて、内容を確定していきます。記念事業財源の考え方として、1、スポーツ科学研究所の募金活動を「50周年記念事業」として行い、研究所設立と50年史作成を賄う。2、スポーツ科学研究所関係以外の5事業については、「50周年記念事業募金」をしないで、現在までの50周年積立金と2014～2015年の50周年積立金、および5事業の経費削減で賄うことを基本として検討していくことを確認しました。

【閉会あいさつ】和食昭夫理事長

各局がその機能を十分に発揮しています。これからの新しい役員体制をつくっていく上でも大きな財産となります。スポーツのひろばについては、あと500部強・2500部を目指して最後のチャレンジ!です。「できないではなく、まずやりましょう」。海外との交流は、国際的にも草の根レベルでの活動が大切になっています。50周年、来年の総会と大切な場が近づいてきました。前進と展望で迎えましょう。

第31回定期全国総会までの主なスケジュール (2013年8月～2014年3月)

| 月日 | 全国会議・事業 | 都道府県連盟・全国種目組織 |
|----------------|-----------|------------------------------------|
| 【2013年】 | | |
| 8月 | 24～25日 | 30期第6回理事会(役員選考委員、議案起草委員を選出) |
| 9月 | 26日 | 第1回全国レディースペアマッチ卓球大会(東京体育館) |
| | 28～29日 | 全国スポーツセミナー:岩手県盛岡 |
| 10月 | 4日 | ひろば11月号発行 |
| 10月 | 5～6日 | ソフトボール東日本大会(厚木市) |
| | 6日 | 全国サッカー東日本大会(千葉) |
| 11月 | 2～3日 | 全国軟式野球大会(岐阜) |
| | 3日 | 全国水泳競技大会(東京) |
| | 10日 | ソフトボール第5回西日本大会(京都)、全国サッカー西日本大会(大阪) |
| | 16～17日 | バレーボール全国競技大会(栃木市、埼玉県久喜市) |
| | 16～17日 | テニス全国競技大会(愛知)、全国サッカーシニア大会(大阪) |
| | 30日～12月1日 | 全国ミックスバレーボール大会(静岡) |
| | 30日～12月1日 | 全国卓球選手権大会年代別の部(札幌市) |
| 12月 | 1日 | 富山県連盟総会、全国サッカーファイナル大会(兵庫) |
| | 7～8日 | 全国卓球選手権大会一般の部(小田原市) |
| | 7～8日 | 全国バドミントン競技大会個人(名古屋市) |
| | 8日 | 愛知:高蔵寺弾薬庫一周平和マラソン |
| | 14～15日 | 30期第7回理事会(第31回総会代議員数など最終確認) |
| | 16日 | 第31回総会招請状・組織現勢調査票・30期活動報告等送付 |
| 【2014年】 | | |
| 1月 | 5日 | 全国縦断新春マラソン(大阪、他) |
| | 12日 | 全国縦断新春マラソン(東海、他) |
| | 20日(予定) | 組織現勢調査と30期活動報告の提出締切り 31回総会代議員受付開始 |
| 2月 | 8～9日 | 30期第2回評議員会・第8回理事会(武蔵野美術大学・新宿サテライト) |
| | 20日(予定) | 代議員受付締切 |
| 3月 | 1日(予定) | 第30回定期全国総会議案書送付 |
| | 1～2日 | 全国スキー競技大会(戸狩温泉) |
| | 15～16日 | 31回定期全国総会(全労連会館 東京:御茶ノ水) |

* 追加・訂正があれば全国事務局まで随時ご連絡ください。

東北復興支援 「義援金」報告

2013年8月24-25日 第6回理事会用

義援金募金 2011年3月～ 全国連盟口座への振り込み分

| | | |
|-----------------------------|-------|------------|
| A義援金(スポーツ連盟支援募金) | 募金 合計 | 9,301,125円 |
| *FSGTからの支援募金の合計 890,011円を含む | | |
| B義援金(公的機関への募金) | 募金 合計 | 178,976円 |
| 2011年12月8日朝日新聞厚生文化事業団へ送金 | | |

A義援金(スポーツ連盟支援募金)充当状況 2011年3月～

| | |
|----------------------------------|------------|
| 1 被災者お見舞金 | 3,620,000円 |
| 2 宮城県・岩手県連盟支援金(活動支援、事務所維持支援) | 1,483,270円 |
| 3 東北連盟支援金(全国分担金、「スポーツのひろば」誌代) | 827,179円 |
| 4 行事・競技会、ボランティア活動への支援金(2012年3月～) | 922,605円 |
| 充当 合計 | 6,853,054円 |

募金 残高 2,448,071円

スポーツ科学研究所設立募金と 研究所会員の募集開始について

<募金について>

スポーツ科学研究所準備委員会は、9月中旬に「創立50周年記念事業スポーツ科学研究所設立・運営募金」(研究所募金)の訴えを開始します。募金活動の期間は13年9月～15年末まで。

<研究所会員の募集について>

研究所募金と同時に「スポーツ科学研究所会員」の募集を開始します。9月18日の第44回研究所準備委員会で趣意書案、規約案、会員規定案、入会のよびかけを確定し募集を開始。